

GPS について

1. 【GPS を用いたタスク証明】

- ・飛行の証明は全て GPS のトラックログで判定する。
- ・参加選手は少なくともひとつの GPS を装備すること。
- ・参加選手は GPS を正しいパラメーターにセットすること。
- ・参加選手は帰着申告の際に、その日の飛行のトラックログを GPS からダウンロードすること。
- ・携帯電話によって記録されたトラックログも有効とする。
- ・提出したトラックログで正しく判定されなかった場合は、別のトラックログを提出することができる。

2. 【GPS を使ったスタート方法】

- ・GPS でのスタートは、鉛直方向のシリンダーで作られるラインをクロスすることで確認される。地上での目視物は利用しない。
- ・スタート方法はスタートゲート、1st ターンポイント、スタートインターバル、スタート回数設定により決められる。
- ・スタートシリンダーをクロスした時刻の前のスタートゲート時間が、タスク計測時間のスタートとなる。
(例：13時00分、13時20分にスタートゲートが設定された場合、13時00分00秒～13時19分59秒までにスタートシリンダーを通過した場合には13時00分スタートとなり、13時20分以降にスタートシリンダーを通過した場合は 13：20分がスタート時間となる。)

3. 【ゴール、フィニッシュラインとランディングエリア】

- ・ゴールは仮想(GPS 上)シリンダーで、400m以上のゴールシリンダーを用いる。
- ・ランディングゾーンを設ける。
- ・ESS (エンドオブスピードセクション) を設けることができる。
- ・ESS は時間計測終了ラインとなり、ゴールシリンダーとは別の扱いとなる。
(安全上の理由等により、ゴールより大きいシリンダーを採用し、安全にランディングするための高度を残すことを目的とする。)

4. 【ターンポイント】

- ・ターンポイントは、主催者から提供される GPS コーディネート(座標)とする。
- ・ターンポイントリストは大会前に競技委員会の HP に掲載される。
- ・基本的に選手自身が各自の GPS にターンポイントリストのアップロードを行う。
- ・主催者がターンポイントを大会期間中に加算あるいは変更する場合は、タスクブリーフィングで告知される。
- ・ターンポイントは基本的には地上にある、目標物を目安として決められる。
- ・使用するマップデータは WGS84 で、ポジションフォーマットは dd mm'ss.s" が採用される。

5. 【飛行禁止空域 (CTR)】

- ・飛行禁止空域は、主催者から提供される GPS コーディネート(座標)とする。
- ・飛行禁止空域リストは大会前に競技委員会の HP に掲載される。
- ・基本的に選手自身が各自の GPS に飛行禁止空域リストのアップロードを行う。
- ・GPS での飛行禁止空域の警告範囲の設定は選手個人が行うこと。

- ・提出したトラックログで正しく判定されなかった場合は、別のトラックログを提出することができる。

6. 【タスクの証明】

- ・タスク証明のデータソースは各選手が使用した一つの GPS のトラックログに限られる。二つ以上の GPS ログを繋げてひとつとすることはできない。
- ・トラックログは時間のデータが残っている有効なものでなければならない。
- ・連続したトラックログは 20 秒以下の間隔の連続したものが望ましい。

7. 【GPS データの取りこみ】

- ・GPS データのコンピューターへの取りこみは、JHF HG 競技委員会で認められたソフトウェアである GPSDump で行われ、FS によって判定される。
- ・GPS と集計用 PC を接続するケーブルは基本的に選手が用意すること。

8. 【GPS 判定の基準】

- ・飛行禁止空域の判定における高度情報は気圧高度（QNH）を用いる。
- ・スタートラインをクロスした証明、ターンポイントに入った証明は次に挙げるようなトラックログが残っていないなければならない。
 - 通常のシリンダーをはさんだ連続した 2 個のポジション。
 - スタートラインをはさんだ連続した 2 個のポジション。
 - MARK されたポジションは証明に使われない。

9. 【トラックログの義務】

- ・飛行空域に制限がある場合は、GPS のトラックログでその空域への侵入を判断する。その場合はその日の飛行全体を連続されたトラックログで記録する義務がある。

10. 【注意事項】

- ・選手はバックアップ用に複数の GPS を携帯することを強く推奨する。
- ・選手は成績が確定するまで軌跡データを消去してはならない。
- ・GPS が正しく作動しなかった場合は選手の責任である。
- ・トラックログが取れなかった場合は選手の責任である。
- ・集計用 PC と GPS ドライバの互換性の問題で、古い GPS は集計用 PC と接続できない可能性がある。
- ・高度情報を含む飛行禁止空域がないエリアでの大会においては、気圧高度情報を持たない GPS の提出を認める